

第6次瀬戸市総合計画期間中における人口及び社会増減の推移

人口推移及び将来人口推計

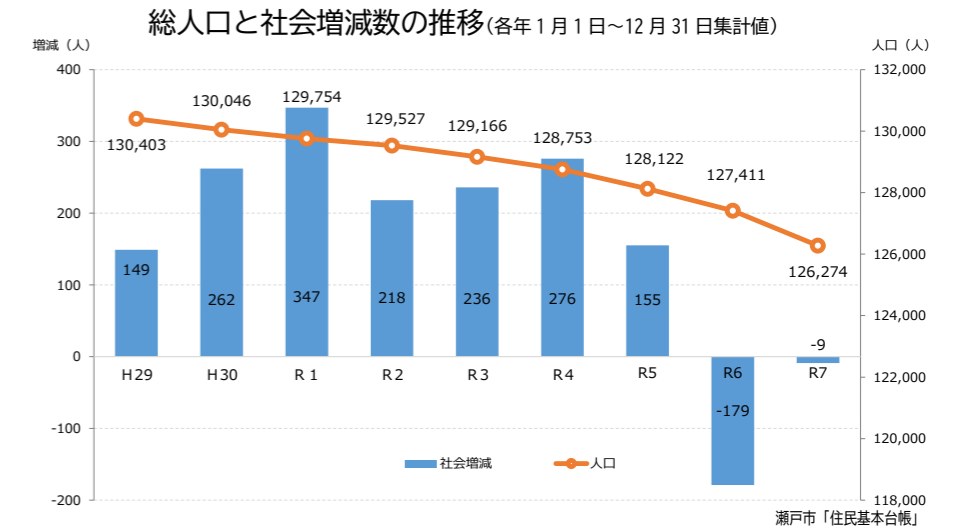
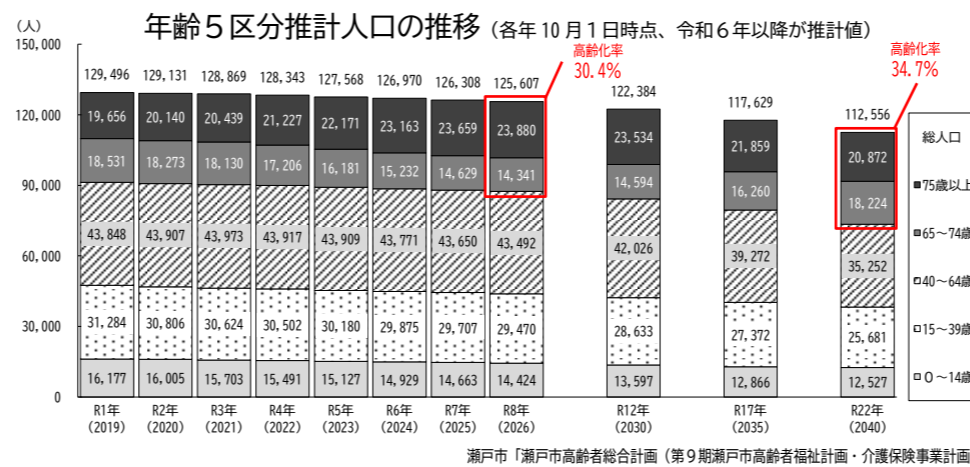
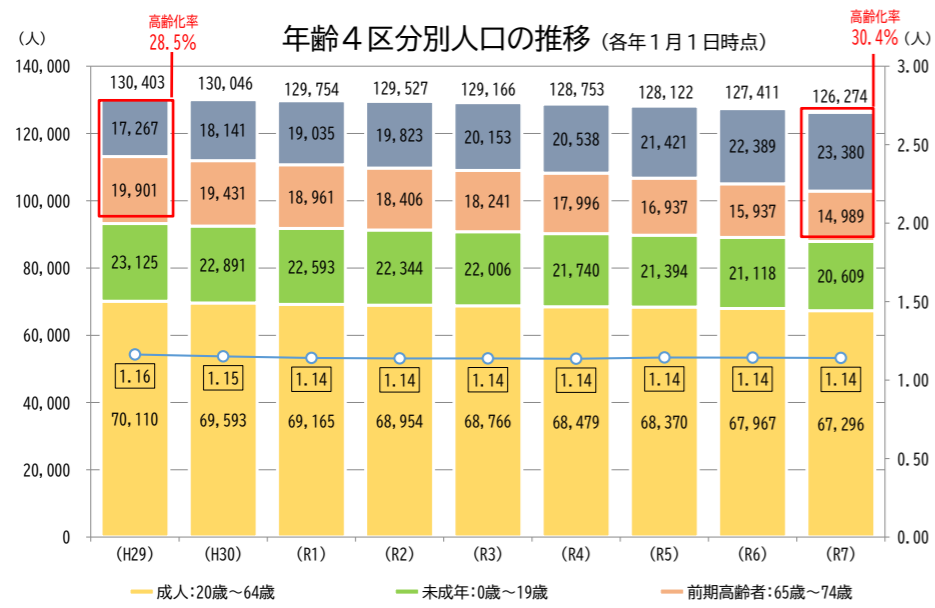
- 令和7年1月1日現在の人口は126,274人であり、緩やかな減少傾向が続いています。また、高齢化率は30.4%であり、平成29年の28.5%から1.9%上昇しています。
- 令和42(2060)年において約11.5万人の人口規模を確保することを施策による最大効果と捉えた将来人口推計については、施策による最大効果を見込んだ推計人口を下回ったものの、施策を講じない場合の推計人口は上回っている状況であり、第6次瀬戸市総合計画に基づく各種施策により一定の効果が表れているものと考えています。

年齢区分別人口推移と連区別構成比

- 令和7年10月1日現在の高齢者人口は38,202人、高齢化率は30.5%となっており、瀬戸市高齢者総合計画における令和8(2026)年の推計値30.4%をすでに上回っています。なお、令和22(2040)年には34.7%となる見込みです。
- 連区別の人口構成比は、連区によってばらつきが見られます。高齢者人口(65歳以上)の割合が高い連区は、萩山台連区(47.4%)、八幡台連区(46.6%)、品野連区(43.2%)となっています。

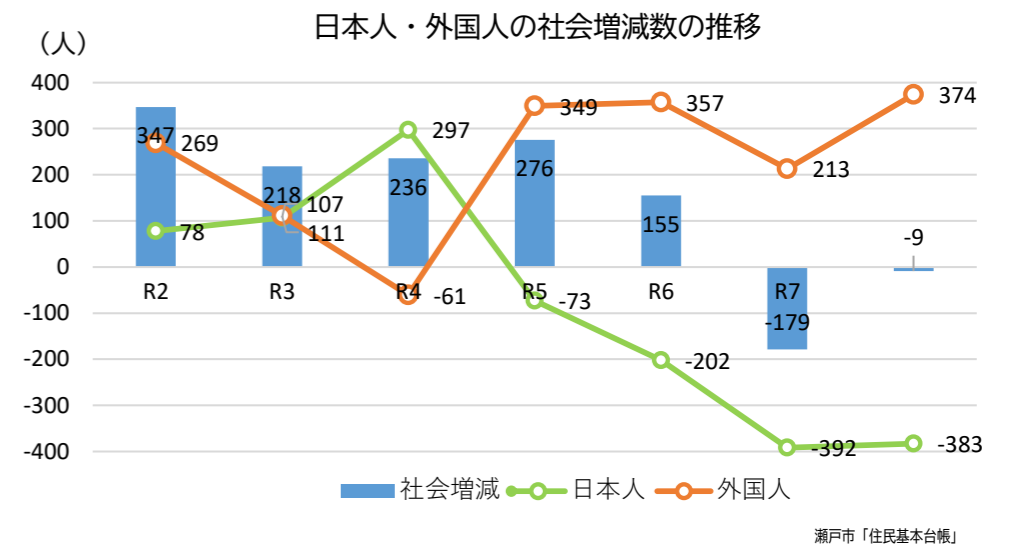
社会増減の推移と前年比較

- 平成29年以降、社会増の状況が続いていましたが、令和6年は179人、令和7年は9人の社会減となりました。
- 国籍別の社会増減は、令和4年以降外国人が社会増に転じており、反対に日本人は社会減に転じています。

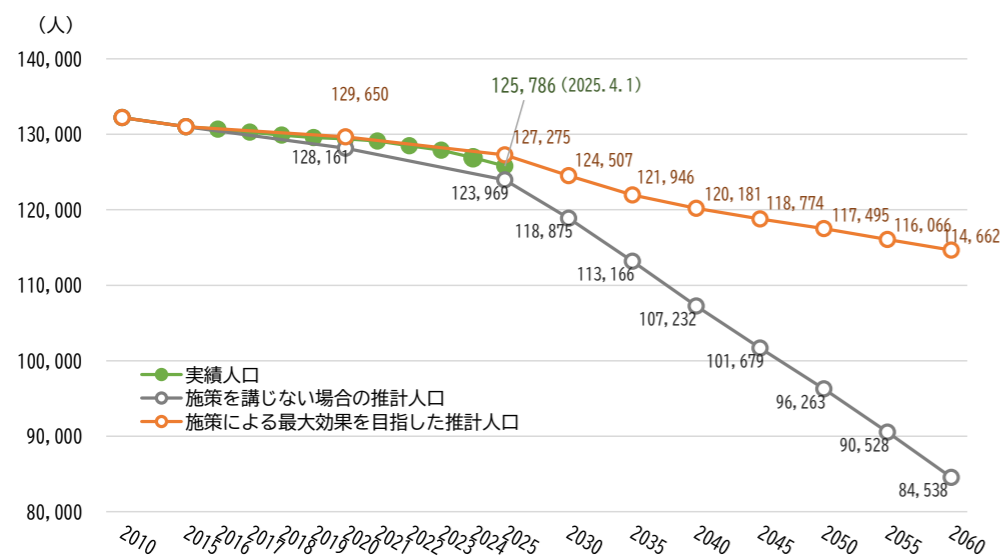


年齢4区分別人口の構成比【連区別】 (令和7年10月1日時点)

	未成年人口 0-19歳	成人人口 20-64歳	前期高齢者人口 65-74歳	後期高齢者人口 75歳-
道 泉	14.6	53.8	13.4	18.2
深 川	12.8	47.3	13.3	26.6
古瀬戸	11.0	47.3	14.8	26.9
東 明	15.1	49.5	13.4	22.0
祖母懐	22.2	52.7	9.1	16.0
陶 原	14.4	54.6	11.7	19.3
長 根	16.6	57.3	10.4	15.7
效 範	16.9	56.4	10.7	16.1
水 南	15.6	54.9	12.4	17.0
水 野	20.5	52.1	11.1	16.3
西 陵	16.6	51.7	10.8	20.9
原山台	14.5	44.0	12.3	29.2
萩山台	10.1	42.5	13.4	34.0
八幡台	11.6	41.8	13.4	33.2
品 野	9.8	46.9	15.6	27.6
下品野	16.2	53.3	11.4	19.1
山 口	18.7	56.8	11.1	13.4
本 地	16.2	57.0	10.8	16.0
菱 野	17.0	59.6	9.7	13.7
新 郷	14.6	52.0	13.4	20.0
合 計	16.2	53.4	11.6	18.8



瀬戸市人口ビジョンにおける将来人口推計に対する動向 (各年4月1日時点)



※データや出典によって基準となる時点が異なります。